



2022年9月期 第2四半期決算説明会

シミックホールディングス株式会社

2022年5月11日



決算概要

シミックグループCFO
望月 渉



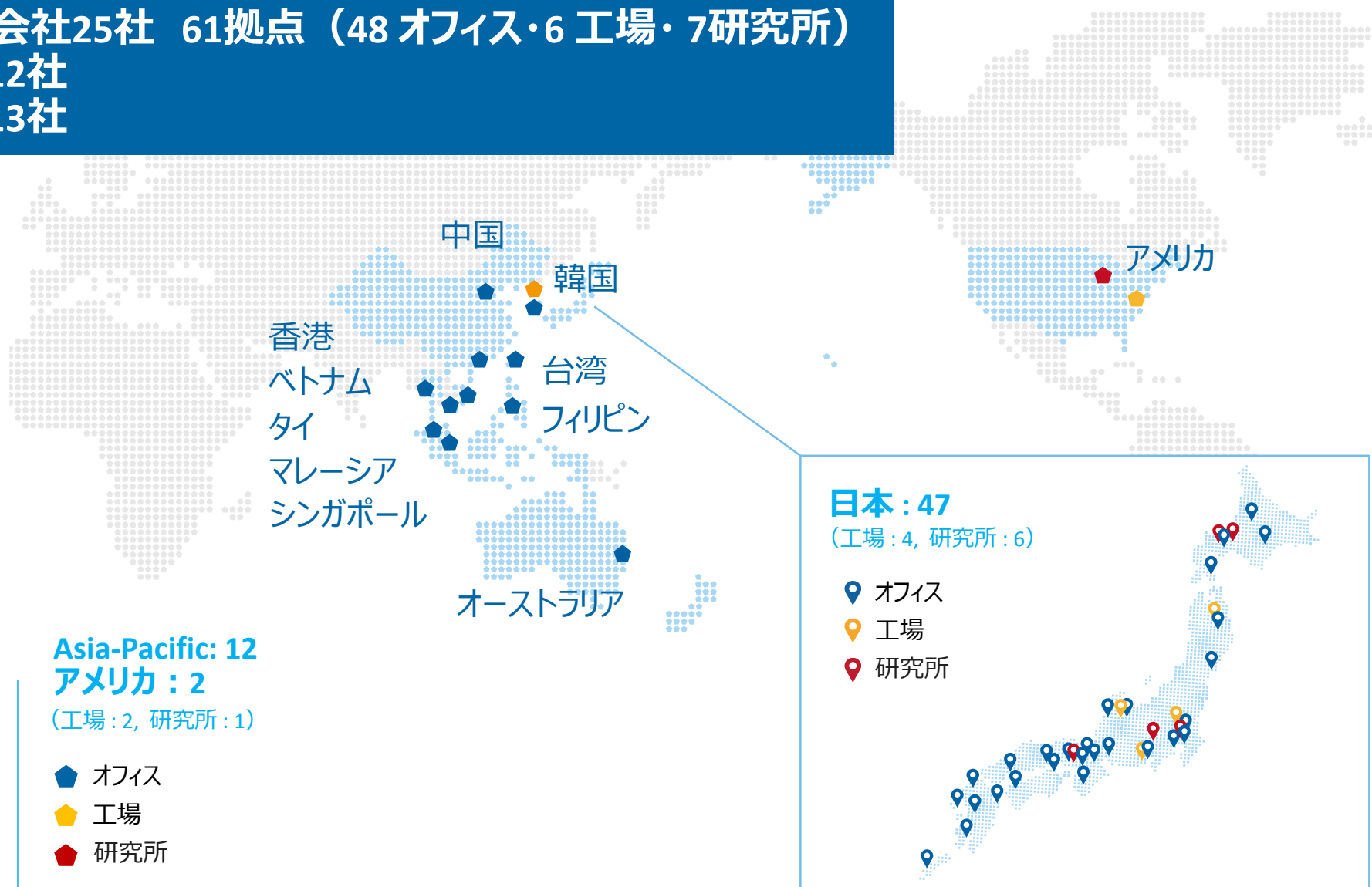
グループ事業内容



グループ拠点展開

グループ会社25社 61拠点 (48 オフィス・6 工場・7 研究所)

国内 12社
海外 13社



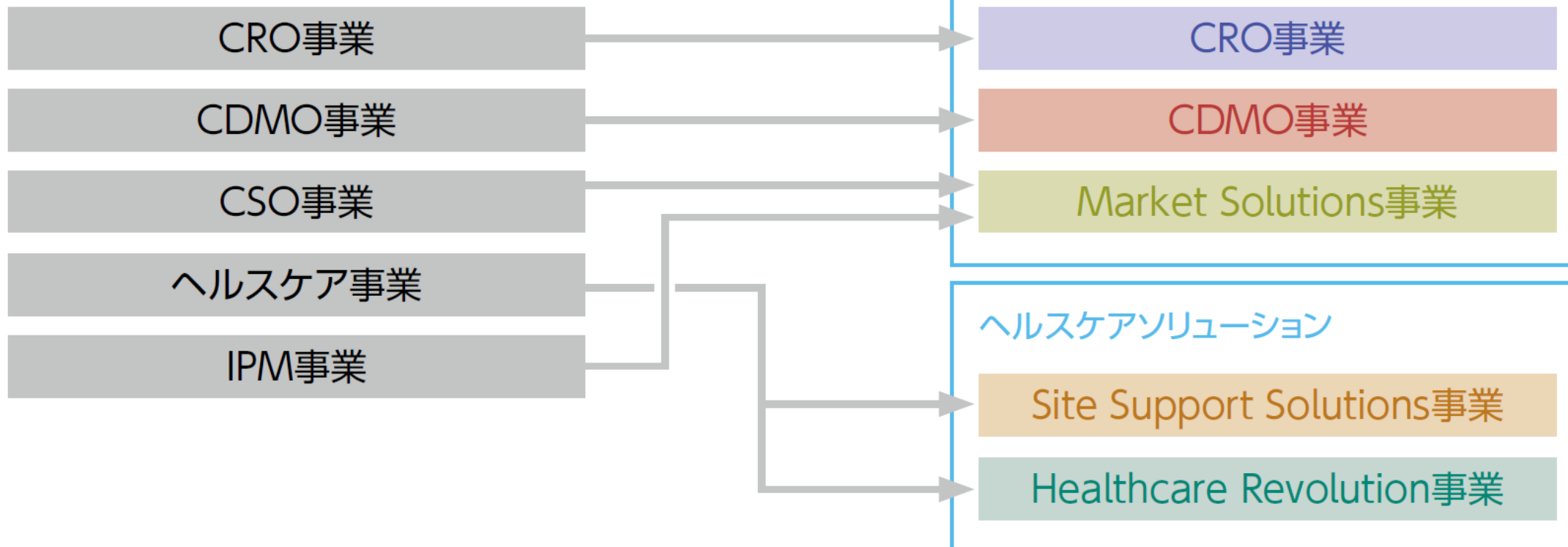
報告セグメントの変更



FY22より、PVCモデルを展開する「製薬ソリューション」と、医療機関・自治体等を通じて個人の健康に寄与する「ヘルスケアソリューション」の2つのセグメントに変更

新セグメント FY2022以降

旧セグメント FY2021





ヘルスケアビジネスの進展

疾患予防・治療の研究開発から販売まで
総合的な支援の強化

社会的有益性の高い事業を通じた
サステナブルな社会への貢献





ヘルスケアビジネスの進展



- 自治体のコロナワクチン接種・PCR検査支援
 - 新型コロナワクチン接種情報管理システム 「harmoワクチンケア」の活用
 - コールセンター（副反応相談対応）、人的支援（医師・看護師紹介、運営スタッフ）
抗原検査キット販売
- 地方自治体との連携
 - 山梨県北杜市「harmoワクチンケア」導入による接種記録利用の市民サービス展開
 - 新潟県妙高市と新型コロナウイルス感染症対策と健康増進に係る包括連携協定を締結
 - 「harmoワクチンケア」アプリ、羊蹄山麓7町村で子供のワクチン誤接種防止に活用



疾患予防・治療の研究開発から販売まで 総合的な支援の強化

- 医薬品・医療機器開発のスピード化・効率化の促進
 - Science 37®とDecentralized Clinical Trial (DCT)
促進と医薬品開発のスピードアップに向けたパートナーシップを締結
- バイオアナリシス業務において、次世代バイオ医薬品や遺伝子治療薬など、モダリティの多様化が進む先端領域の創薬支援



社会的有益性の高い事業を通じた サステナブルな社会への貢献

- シミック、子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得
- 第18回「日本エイズ学会 学会賞（シミック賞）」の授与、
第13回「国際児童絵画コンクール」の共催
- Rare Disease Day（世界希少・難治性疾患の日）活動支援



連結損益計算書（要約）



	FY2021/Q2		FY2022/Q2		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	38,645	100.0	51,769	100.0	+13,123	+34.0
営業利益	2,158	5.6	5,743	11.1	+3,584	+166.1
経常利益	2,368	6.1	6,169	11.9	+3,800	+160.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,222	3.2	3,503	6.8	+2,281	+186.6
1株当たり 四半期純利益	67円58銭		194円07銭			

【ウクライナ情勢の影響について】当第2四半期連結累計期間までの当社グループへの影響は軽微です。

営業外損益・特別損益・税金費用・非支配株主損益の内訳



			(百万円)	
	FY2021/Q2	FY2022/Q2	FY2021/Q2	FY2022/Q2
営業外収益内訳	326	530	特別利益内訳	116
受取利息	1	1	債務免除益	116
為替差益	159	467	特別損失内訳	58
持分法による投資利益	20	—	固定資産除却損	25
その他	145	61	投資有価証券評価損	32
営業外費用内訳	116	104	法人税等	1,004
支払利息	64	74		2,631
その他	52	29		
			非支配株主に帰属する四半期純損益	199
				△17

報告セグメント別売上高および営業利益



		FY2021/Q2 (百万円)	FY2022/Q2 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
製薬ソリューション	売上高	33,566	36,820	+3,254	+9.7
	営業利益	2,686	2,326	△359	△13.4
ヘルスケアソリューション	売上高	5,348	15,262	+9,913	+185.4
	営業利益	152	4,182	+4,030	+2,650.4
調整額	売上高	△269	△ 314	△44	—
	営業利益	△679	△ 765	△86	—
合計	売上高	38,645	51,769	+13,123	+34.0
	営業利益	2,158	5,743	+3,584	+166.1

* 調整額

売上高は、報告セグメント間取引の内部消去であります。

営業利益は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、当社（持株会社）に係る費用であります。

受注高・受注残高



	FY2021/Q2		FY2022/Q2			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
製薬ソリューション	33,156	66,227	44,327	+33.7	77,688	+17.3
ヘルスケアソリューション	7,249	14,026	15,334	+111.5	16,947	+20.8
合計	40,405	80,254	59,661	+47.7	94,636	+17.9

売上構成比



FY2021 Q2

ヘルスケアソリューション

13.7%

売上高
38,645百万円

製薬ソリューション

86.3%

営業利益 2,158百万円

営業利益率 5.6%

FY2022 Q2

ヘルスケアソリューション

29.3%

売上高
51,769百万円

製薬ソリューション

70.7%

営業利益 5,743百万円

営業利益率 11.1%

FY2021 Q2

FY2022 Q2

Market Solutions事業

16.6%

売上高

33,566百万円

CRO事業

52.1%

CDMO事業

31.3%

営業利益 2,686百万円

営業利益率 8.0%

Market Solutions事業

18.4%

売上高

36,820百万円

CRO事業

51.0%

CDMO事業

30.6%

営業利益 2,326百万円

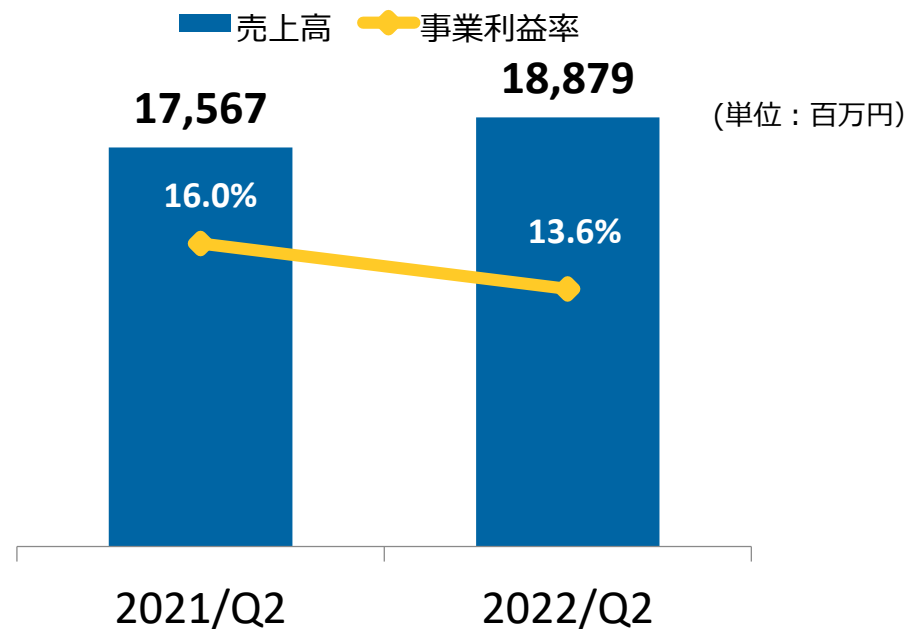
営業利益率 6.3%

事業セグメント — CRO事業 —

疾患予防・治療の研究開発を総合的に支援する事業

事業概況

- 売上高は前年同期を上回る
- 開発案件の引き合い増加
- Science 37®とDecentralized Clinical Trial (DCT) 促進と医薬品開発のスピードアップに向けパートナーシップを締結
- バイオアナリシス業務において、次世代バイオ医薬品や遺伝子治療薬など、モダリティの多様化が進む先端領域の創薬支援



重点取組事項

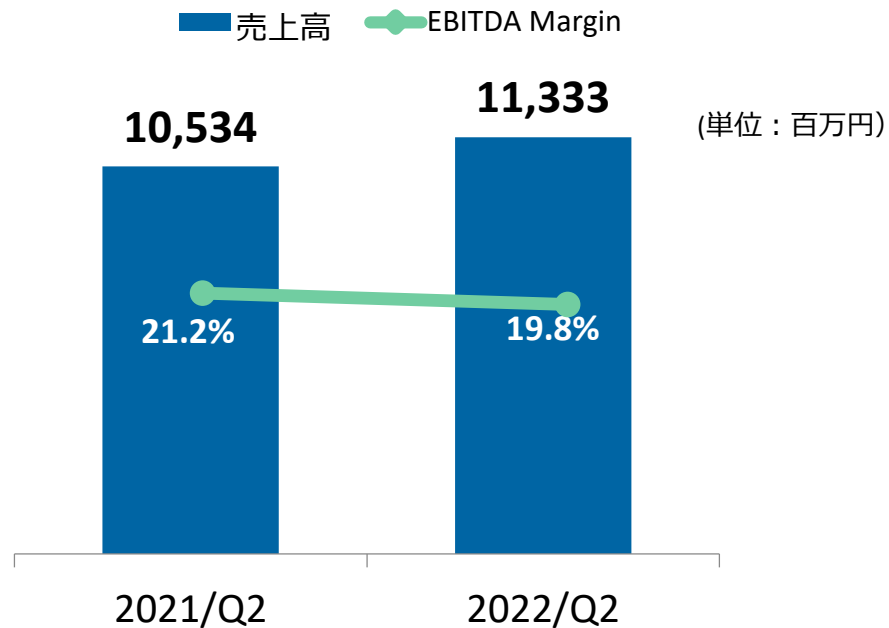
- バイオ・再生医療等の先端領域の開発支援強化 (アカデミア・BVから承認申請をフルサポート)
- DCTやRWDなどデジタル活用
- 日米ラボ連携による核酸医薬の積極的受託
- 多国間試験の積極的受託 (アジア共同治験、日米バイオ測定ビジネス)
- US、アジアビジネス展開
- 国内市場におけるNo.1シェア目標

事業セグメント – CDMO事業 –

治験薬から商用まで医薬品製剤ならびにバイオ原薬の開発・製造支援事業

事業概況

- 売上高は前年同期を上回る
- エネルギーコストが増加傾向
- 新型コロナウイルス感染症拡大やジェネリック品質問題の影響に対し、安定供給の確保に向けたニーズが拡大
- 米国の新規案件獲得に注力



※ 事業利益率 2.6% (マイナス)

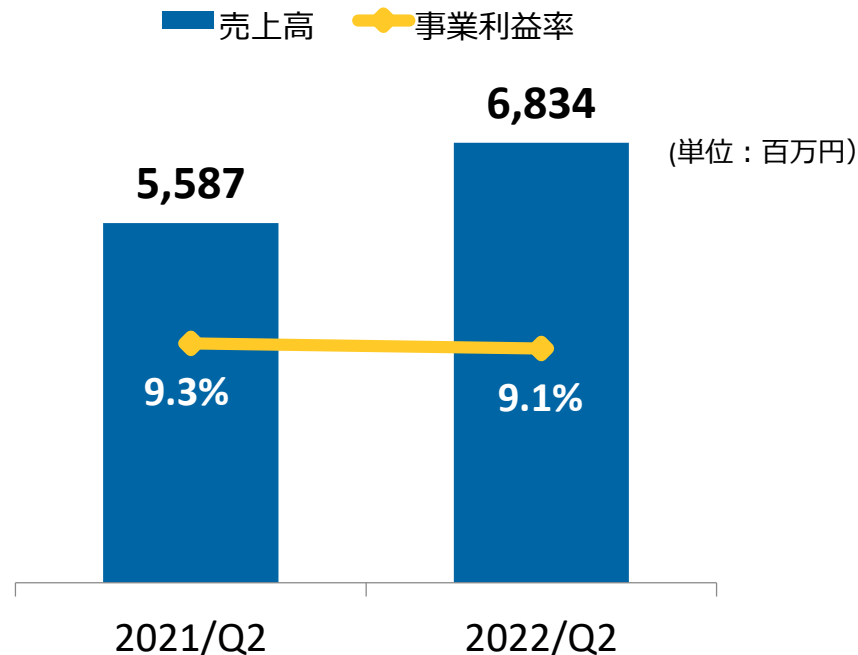
重点取組事項

- 足利注射剤棟生産の確実な実施と収益貢献
- 製剤技術のライセンス事業の本格展開 (マイクロニードル他)
- US新サイトでの業務拡大
- 国内製薬企業の戦略的パートナーとしての位置づけ強化

医薬品等のメディカル・営業・マーケティング支援事業ならびにオーファンドラッグ等の開発・製造販売・流通事業

事業概況

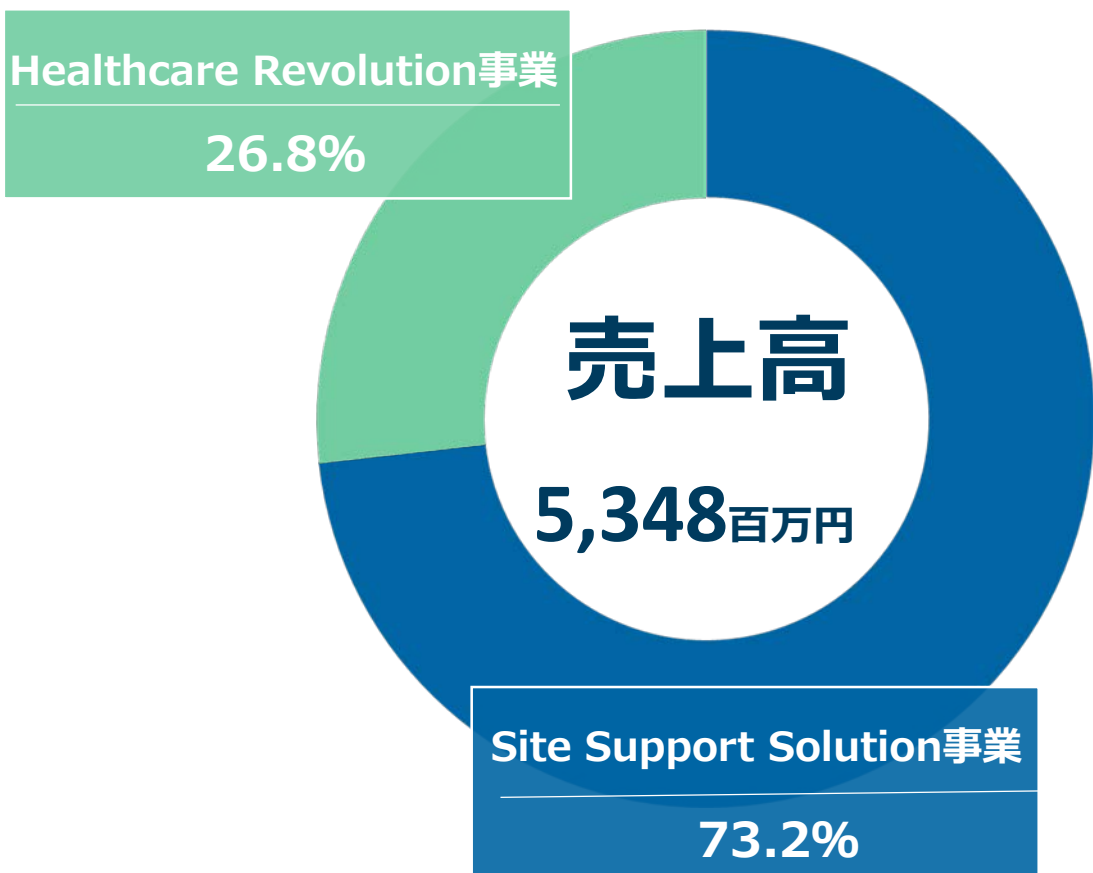
- 売上高は前年同期を上回る
- MR派遣業務において新規案件の獲得と既存案件が順調に進捗



重点取組事項

- MR派遣ビジネスでのポジショニング拡大
- MR、MSLの効率的採用
- ハイブリッドサービスの提供
- マルチチャネルの促進
- 新規オーファンドラッグの開発
- 海外製薬企業の日本市場進出支援

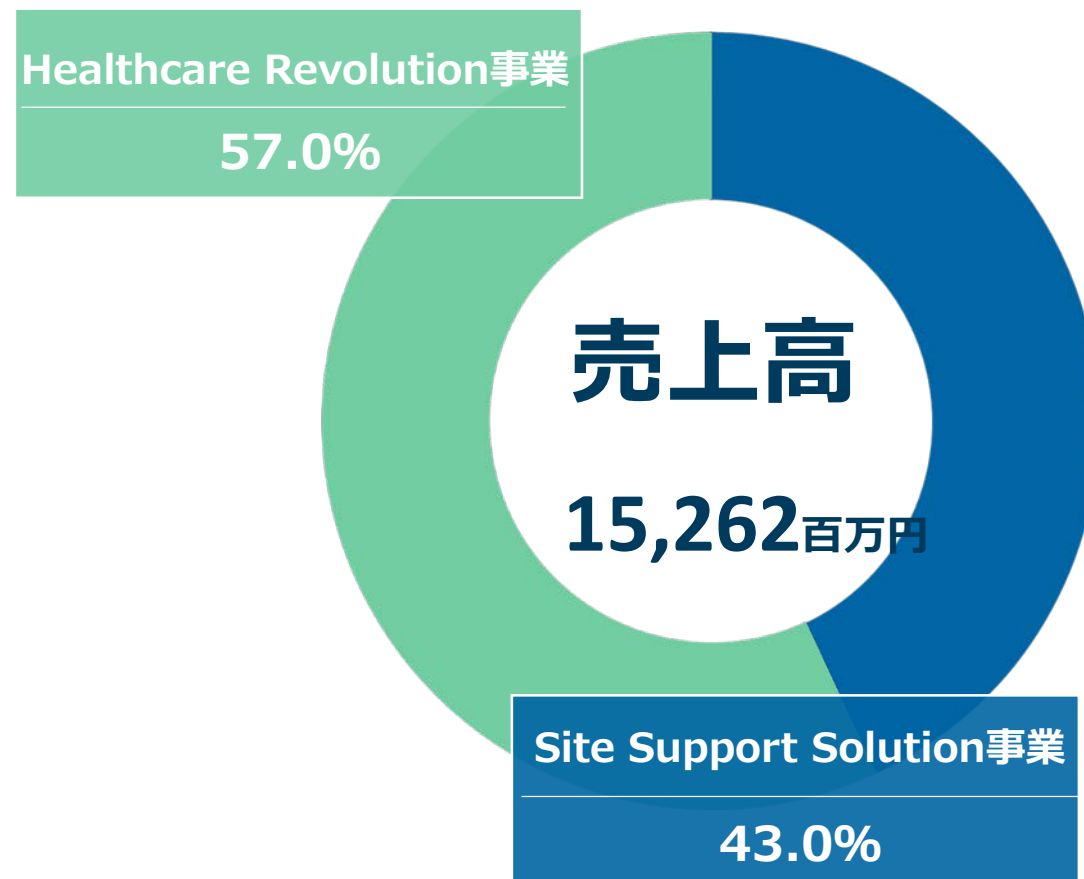
FY2021 Q2



営業利益 152百万円

営業利益率 2.8%

FY2022 Q2



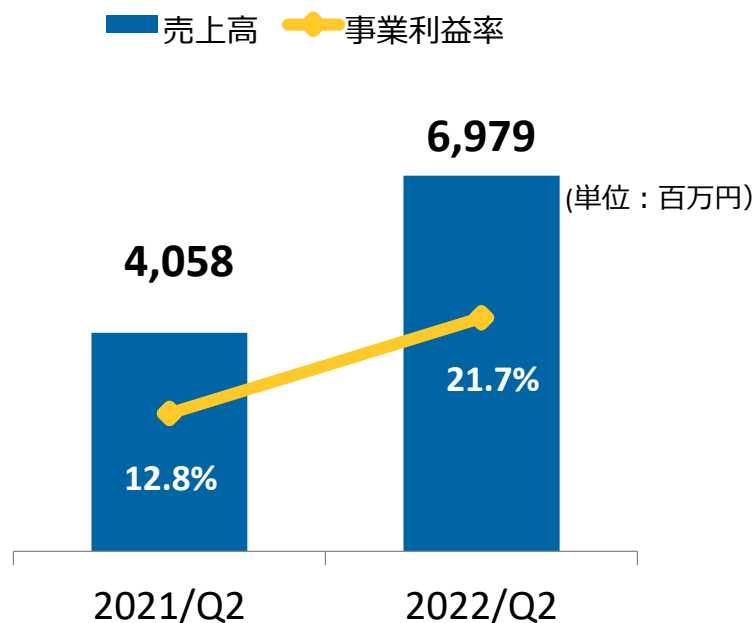
営業利益 4,182百万円

営業利益率 27.4%

医療関連施設および医療従事者を総合的に支援する事業

事業概況

- 売上高は前年同期を大幅に上回る
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン及び治療薬等開発、コールセンター案件の増加
- 臨床試験（研究）をはじめとする医療機関向け支援ニーズも拡大
- アカデミアとの連携を促進



重点取組事項

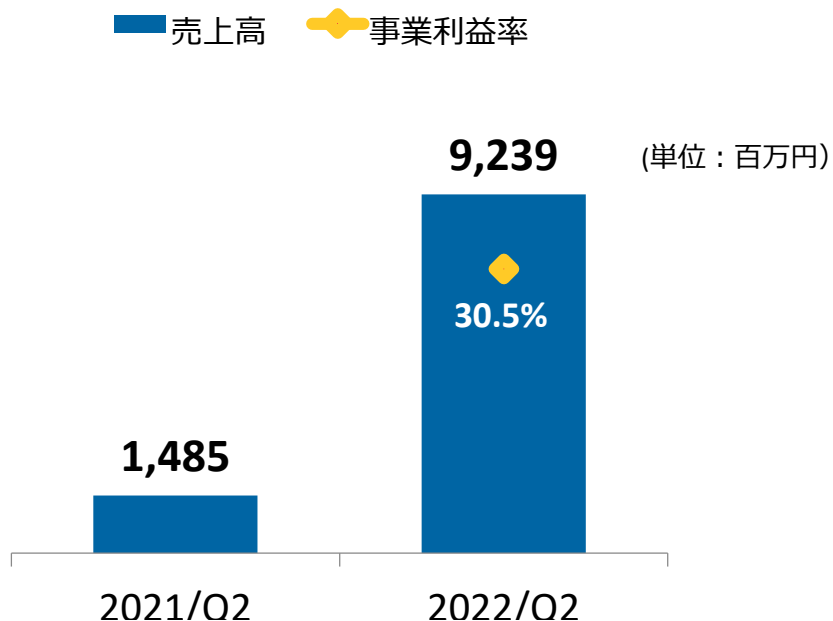
- 治療から予防・予後マーケットへの展開（予防治療薬やアプリ治験）
- 大学病院ネットワーク等への支援
- 地域医療におけるサービス提供

事業セグメント –Healthcare Revolution事業–

個人および自治体等にヘルスケアの新たなエコシステムを用いたソリューションを提供する事業

事業概況

- 売上高は前年同期を大幅に上回る
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種支援業務等が大幅に増加
- 疾病予防・健康情報やIT技術を融合したビジネスの拡大に取り組む
- 地方自治体との連携を促進
- Healthcare Communication Channelとしてharmo®のPHR等への活用推進



重点取組事項

- harmoを使ったヘルスケアサービス拡大とデータ利活用
- 自治体、企業向けヘルスケアサービスの拡充
- セルフチェックサービスの展開
- ヘルスケア人財の育成、確保

連結貸借対照表（資産の部）

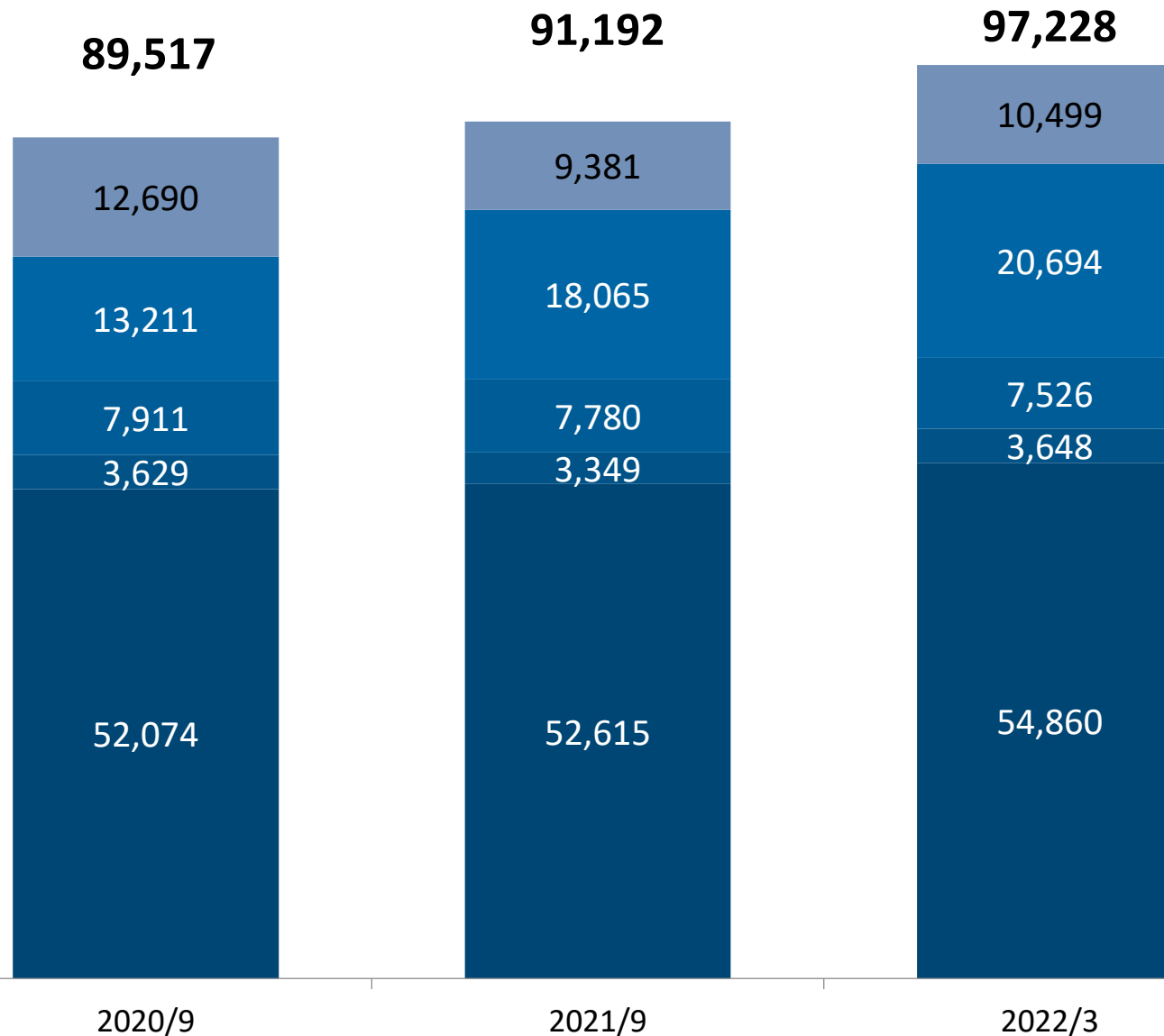


(百万円)

100,000

50,000

0



総資産	+6,035
■ 現預金	+1,117
■ 売上債権	+2,629
■ 棚卸資産	△254
■ その他流動資産	+298
■ 固定資産	+2,244

連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）

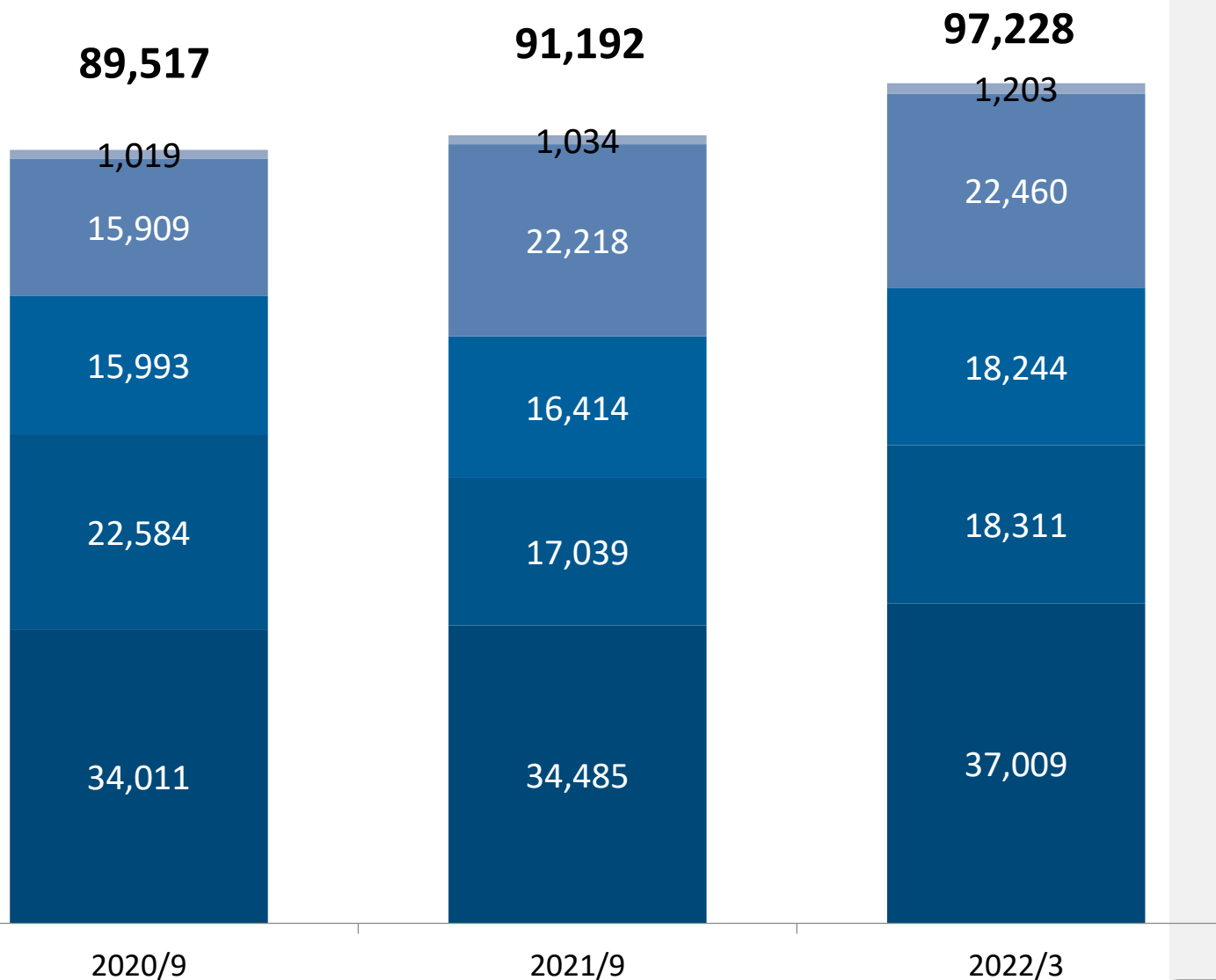


(百万円)

100,000

50,000

0



仕入債務	+168
その他流動負債	+242
その他固定負債	+1,829
有利子負債 (リース債務を除く)	+1,271
純資産	+2,523

キャッシュ・フロー



	2021/3	2022/3	(百万円) 増 減	
営業活動によるCF	2,089	4,011	+1,921	【主な内訳】 (営業活動によるCF) ・税金等調整前四半期純利益の計上による資金増加等
投資活動によるCF	△2,730	△3,682	△951	(投資活動によるCF) ・CDMO事業における有形固定資産の取得による支出等
財務活動によるCF	△1,412	906	+2,318	(財務活動によるCF) ・借入金収入による資金増加等
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47	△278	△231	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,100	956	+3,056	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	60	+58	
現金及び現金同等物の期首残高	12,688	9,379	△3,308	
現金及び現金同等物の期末残高	10,589	10,395	△193	



2022年9月期 業績見通し





コロナウイルス感染症関連

- 治療薬及びワクチン開発案件は継続
- 大規模なワクチン接種案件が減少する見通し

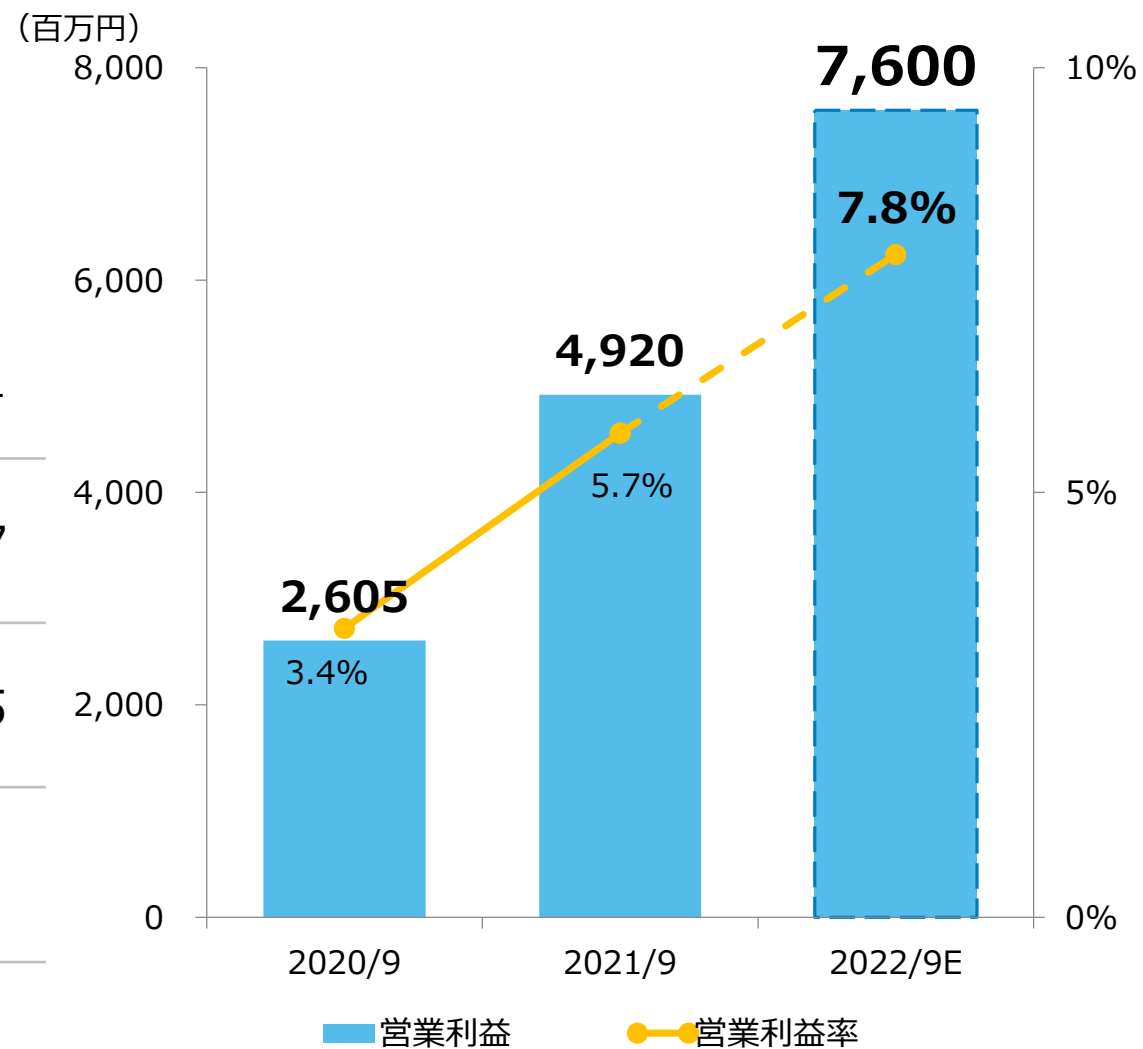
ロシア・ウクライナ情勢

- ロシア・ウクライナにグループ拠点なし
- 受託案件への影響
 - ・ ロシア・ウクライナにおける臨床試験の中止、延期
 - ・ 物流の混乱による原材料や医療機器等の資材調達の遅延 など
- エネルギーや物流コストの上昇による利益への影響

2022年9月期 通期見通し



	2021/9 実績 (百万円)	2022/9 修正見通し (2022/1/31) (百万円)	2022/9 修正見通し (百万円)	対修正見通し 増減率 (%)
売上高	85,788	95,000	97,000	2.1
営業利益	4,920	6,000	7,600	26.7
経常利益	5,091	5,800	7,800	34.5
親会社株主に帰属 する当期 純利益	2,023	3,000	3,900	30.0
1株当たり 当期純利益	111円85銭	165円82銭	217円30銭	



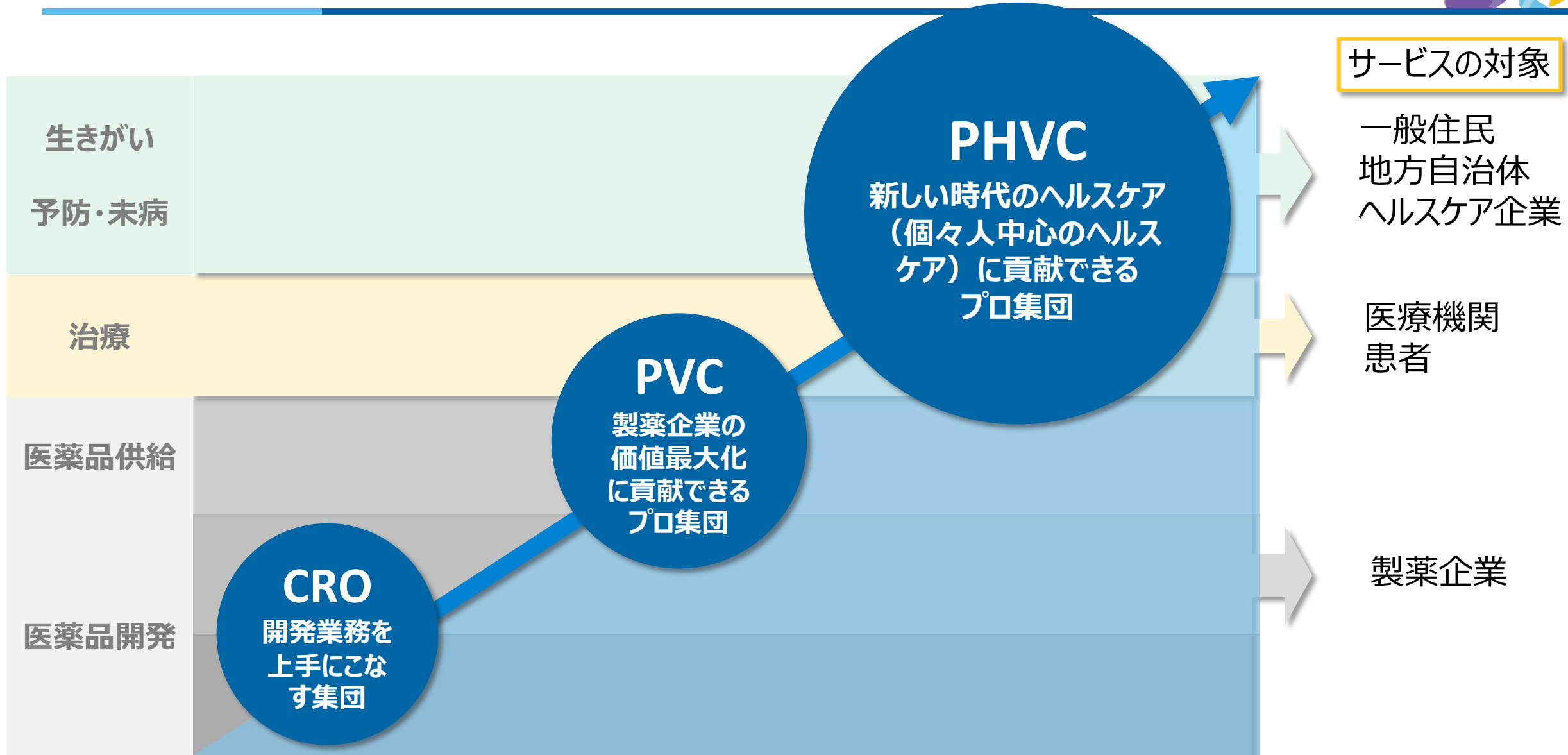


Healthcare Revolution

シミックグループCEO
中村 和男



CMICのビジネスモデルの変化





**Personal
Health Value**



2015年制定

私たちの決意

一度しかない人生を、年齢や性別、
人種に関わらず **誰もがその人らしくまっとうしていくために、**
ヘルスケア分野に革新をもたらすことを、
シミックグループの志とする。

まばゆい成長力を開花させる幼年でも、
人生を成熟させていく老年でも、今この瞬間を生きようとする願いは、
どれも等しく尊い。そのすべてをひとつたりとも見過ごすことなく、
正面から受けとめていきたい。

そのために私たちは、いついかなるときも
より良い未来を求める挑戦者でいたい。
そして、自己を変革し、新たな視点を獲得することで、
自らのゆるぎない情熱を価値に変えて、
人や社会に提供し続けていく。

**PHVC = 個々人の健康価値に
基づいたヘルスケアサービスの提供**

**従来の医療に基づく治療、予防、
未病といった既存概念ではない**

個人中心のヘルスケアの実現に向けて



製薬企業

自治体



アカデミア

ヘルスケア産業

医療機関・薬局

Personal Health Value

保険会社

患者

個々人の健康価値に
基づいたヘルスケアサービスの提供

従来の医療に基づく治療、予防、
未病といった既存概念ではない



ヘルスケアの多様なニーズに応えるプロフェッショナルを育成



治験を進める

CRA 約**1,000**名

治験施設をサポートする

CRC **500**名以上

医薬情報提供を行う

MR **600**名以上

医薬品開発・製造・販売
支援からヘルスケア領域まで
シミックの事業を担う

約 **8,000** 人の社員

シミック独自の社内研修・認定制度
(2021年2月～)



CMIC Healthcare
Professional

- ヘルスケアパートナー 1,350人
- ヘルスケアアドバイザー 631人
- ヘルスケアプロデューサー 44人

世界最大規模のパンデミック発生



- 2019年12月8日

中国の湖北省武漢で新型コロナウイルスの感染者が最初に確認された。

- 2020年1月15日

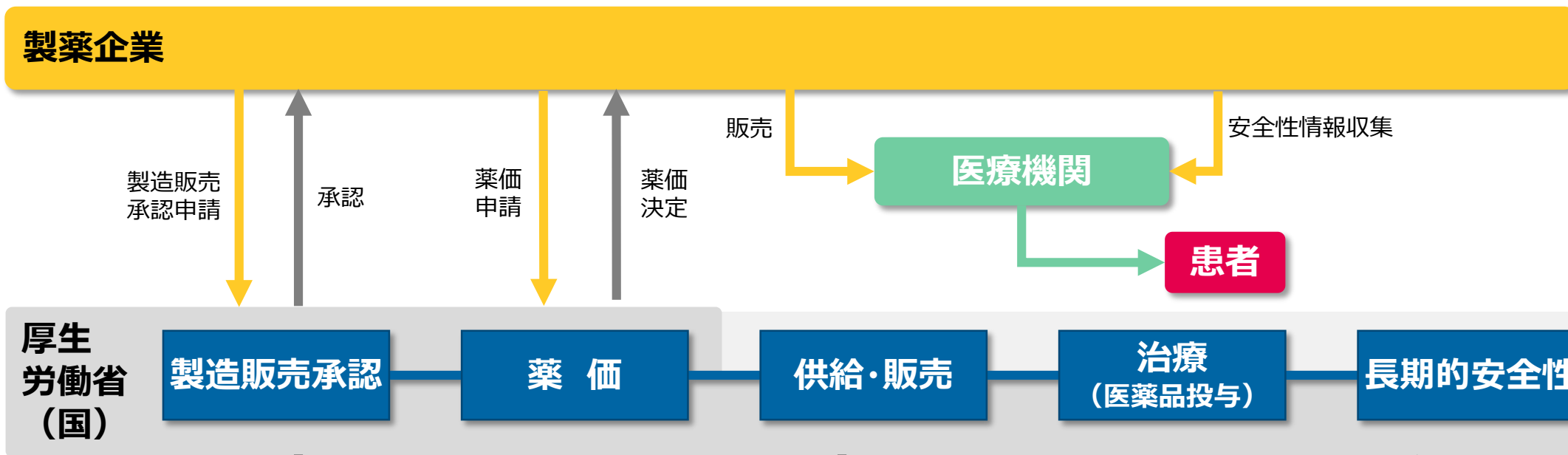
日本国内で第一例目が報告された。（武漢滞在中発熱し帰国後発症）



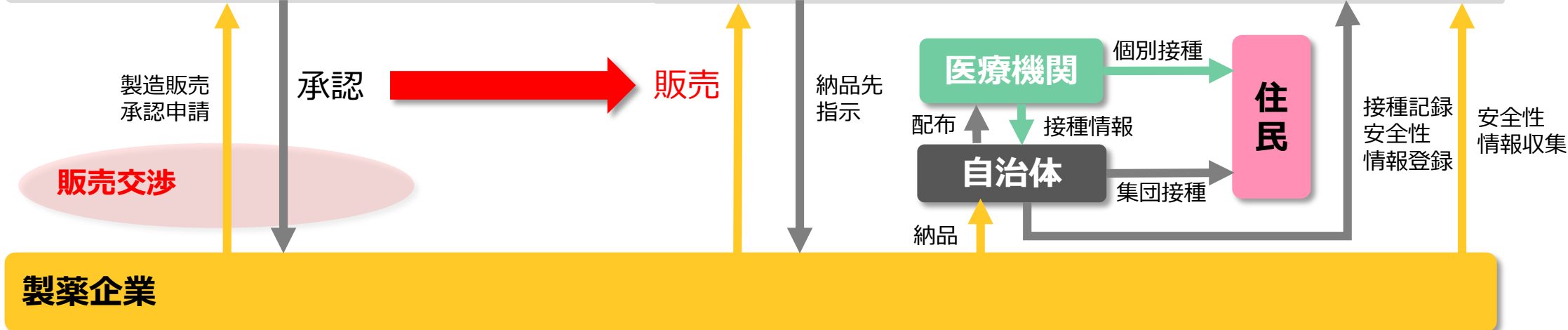
コロナワクチンが変えたバリューチェーン・サプライチェーン



通常の新薬



コロナワクチン



コロナ禍におけるCMICの新たな役割



- ・集団接種会場
- ・ワクチンバス
- ・施設巡回キャラバン
- ・PCRキャラバン



【harmonyの活用】

1 ワクチン接種間隔・種類のチェック



2 個人情報とワクチン情報を分離した安全なデータ管理システム (特許6202152号)



3 正確な情報に基づいた被接種者のフォローアップ



当期自治体支援事例 (*開示可能先一部)



世界的リゾート
羊蹄山麓7町村
包括連携協定
ワクチン接種

羊蹄山麓
7町村



地方都市
山梨県包括連携協定
ワクチン接種

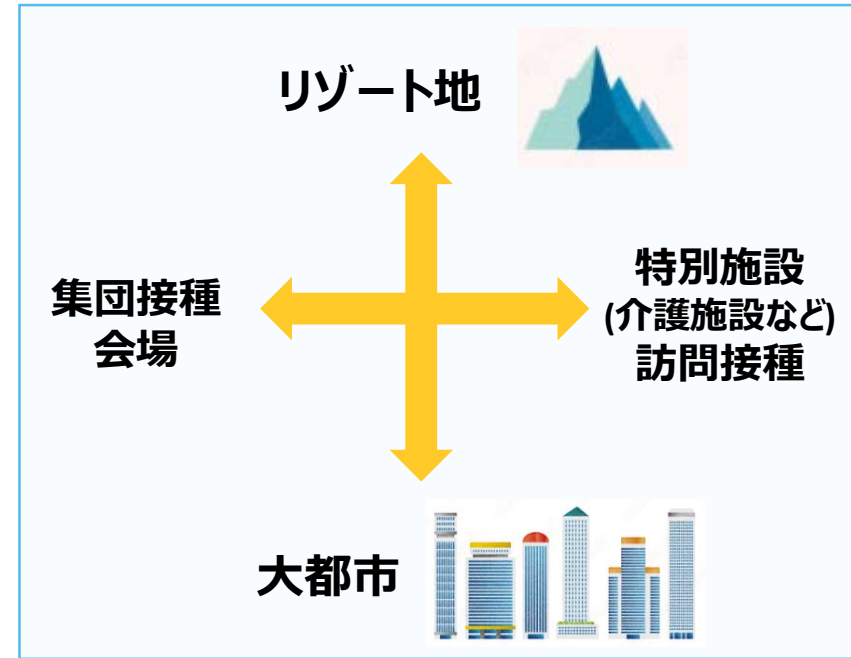
山梨県

東京都

首都圏
世田谷区、大田区、江東区、
杉並区、昭島市、福生市
PCR検査業務
ワクチン接種支援 ...

受託自治体 : 40市区町村

harmo導入 : 22市区町村



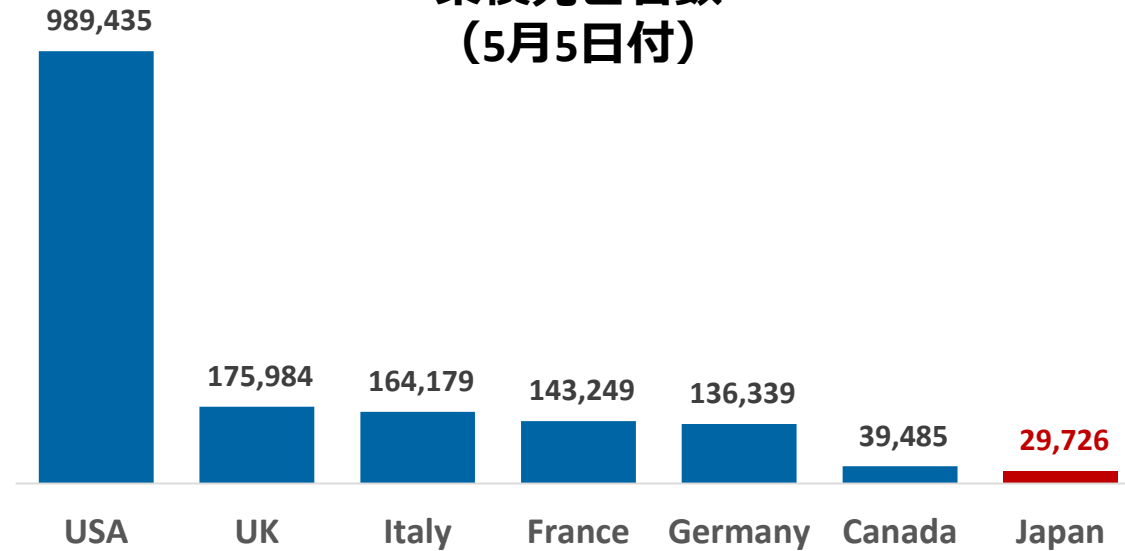
幅広いサービス

- 抗原・PCR検査
- ワクチン接種
- 疫学調査
- コールセンター
- harmoワクチンケア with コロナ

コロナ禍における日本のヘルスケア・サービスは？



累積死亡者数 (5月5日付)



(New York Timesデータを基に、CMIC作成)

B B C

Japan: From vaccine hesitancy to vaccine success
(11/20/2021)

The New York Times

Deaths Fell in Japan Last Year. How?(2/24/2021)



国民皆保険と国民の高いヘルスケア意識により、
死亡者数は先進国の中でも圧倒的に少ない。

コロナ禍における日本のヘルスケア・サービスの課題



■ 課題 – さまざまな...



Japan has the most beds per capita in the developed world. So why is its health system crashing?

(2/17/2021)

日本経済新聞

“ワクチン記録ミス頻発 政府システム読み取りづらく 3回目接種手続き滞る懸念”

2021年11月3日

東京新聞

“保健所職員23%が「過労死ライン」 残業「月200時間以上」も17人 「コロナ対応続き、現場は疲弊」”

2022年2月18日

読売新聞

“昨年の「がん診断」、6万件減る... コロナで受診控えた影響”

2021年11月26日



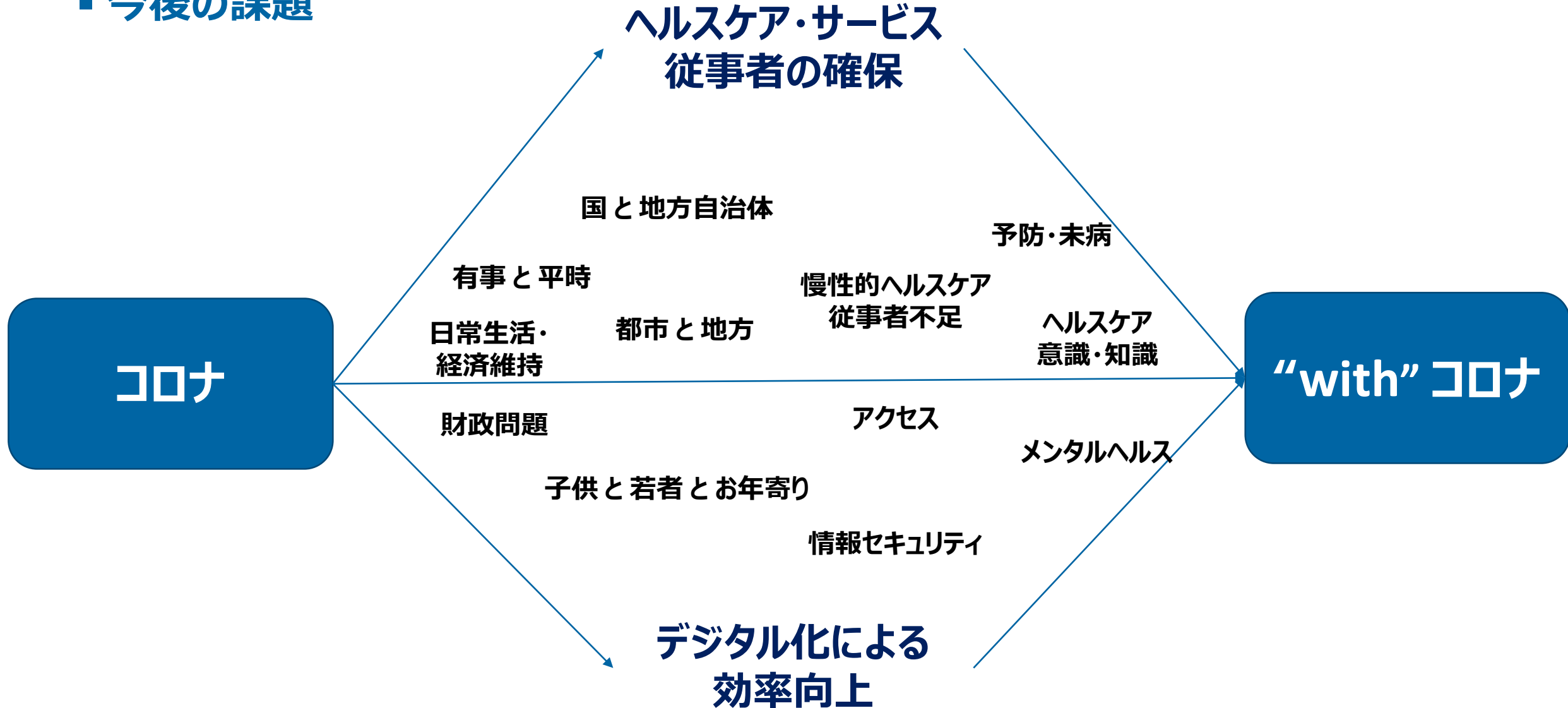
“「孤独感ある」30代が最多 コロナで深刻化、自殺の背景にも”

2022年4月8日

ポスト・コロナにむけてのヘルスケア・サービスのポイントは？



■ 今後の課題



個人中心のヘルスケアの実現に向けて

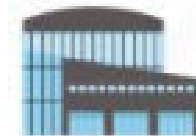
製薬企業



ヘルスケア産業



自治体



医療機関・薬局



ヘルスケアコミュニケーションチャネル



Personal Health Value





大切なひとを、もっと大切にできるように
かけがえのない大切なひとが自分らしく生きていけるように
そのための仕組みを、みんなでつくる



ハ ル モ
h a r m o





～2025年 harmo2.0

薬・ワクチン関連データを活用した
ヘルスケアコミュニケーションチャネル

提供価値：

薬に関連する患者・生活者の課題解決
患者さんの薬物療法・予防に関するリアルな
声を収集・可視化し、解決していく

harmo1.0

紙のおくすり手帳をデジタル化

提供価値：

服薬情報一元管理や
患者の利便性の向上

紙を
電子化

サービスの基盤確立
プラットフォームのシェア拡大

薬に関する課題解決が
可能なharmo

データ利活用による
価値循環の実現

Ikigaiを
最大化可能な
harmo

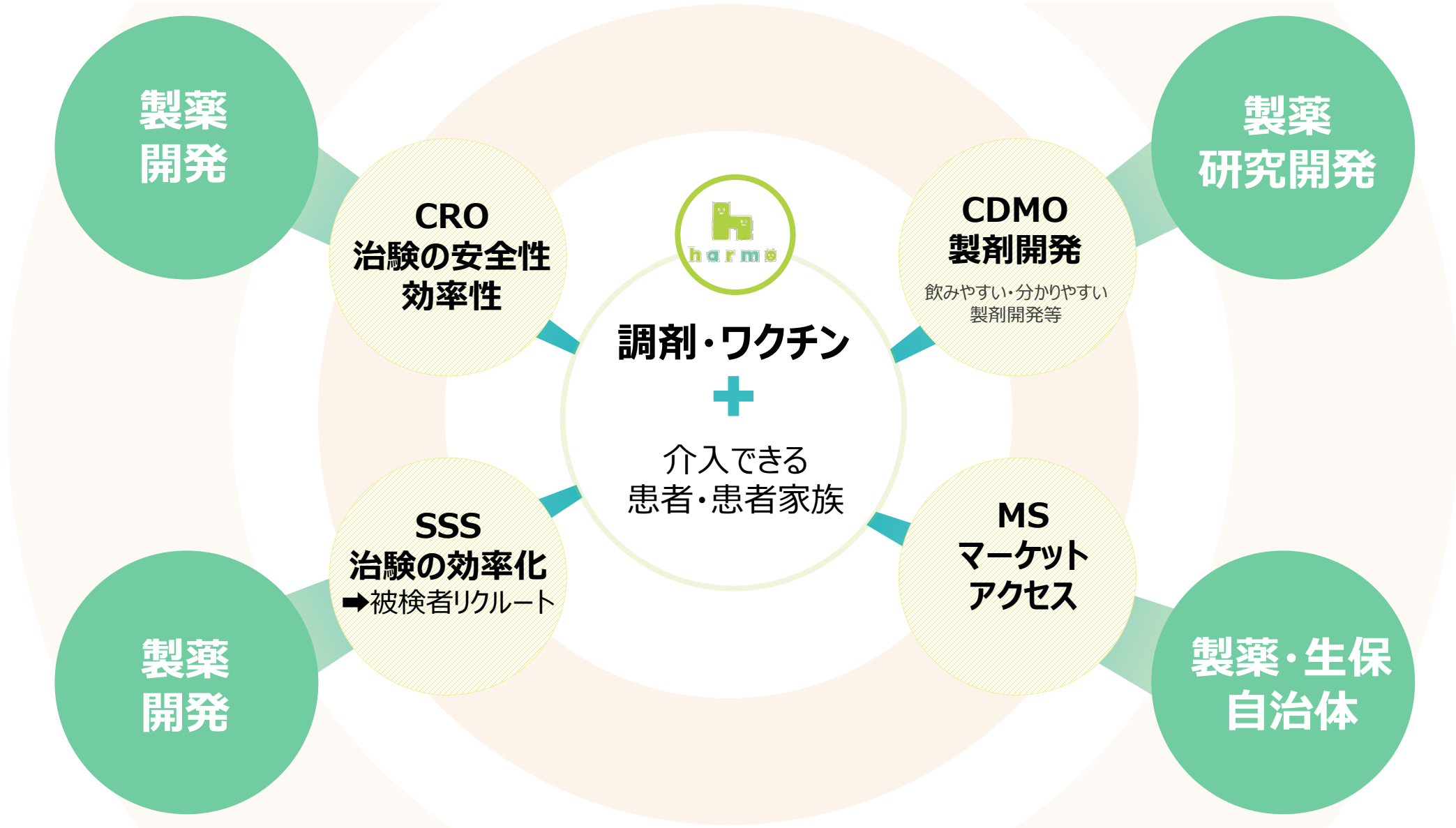
データの拡張
ユースケースの拡張

～2030年 harmo3.0

「生きがい」を最大化させる
ヘルスケアコミュニケーションチャネル

提供価値：

個人および自治体等に適した
テーラーメイドなヘルスケア





本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

